

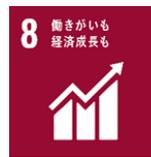
若手職員が新たな施策を提言し、試行に挑戦！

こおりやま広域圏職員向けワーキングスペース

「コーイキングスペース」の設置

官民連携による地域課題解決の取り組み

「自治体クエスト」の開催 について



ターゲット: 8. 3



ターゲット: 17. 17

令和2年12月15日

郡山市政策開発部

政策開発課

担当: 高橋 諒

TEL: 924-2021

SDGs ターゲット 8.3 「生産活動や起業、創造性及びイノベーション支援を促進し、中小零細企業の設立や成長を奨励する」
17.17 「効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する」

「新しい生活様式」対応型チャレンジ「新発想」研究塾 2020 の「3班・しごと分野」の提案において、「新しい生活様式」に対応した働き方の導入・促進及び公民連携・協奏による地域課題解決の取り組みについて、以下の通り、試行に挑戦します。

【コーイキングスペース】

- 1 利用期間 令和2年12月8日(火)から令和3年1月29日(金)
平日(月曜日及び年末年始を除いた火~金) 午前10時 ~ 午後7時
- 2 場 所 郡山市民プラザ 多目的ルーム(ビッグアイ内6階)
- 3 対 象 者 こおりやま広域圏16市町村の職員及び自治体クエスト関係者
- 4 そ の 他
 - ・福島県立岩瀬農業高等学校ヒューマンサービス科の協力による観葉植物等を使用した園芸デザインを導入
 - ・こおりやま広域圏の魅力溢れる風景写真を展示

【自治体クエスト】

- 1 内 容 コーイキングスペースを活動拠点とし、自治体と民間企業が連携して地域課題解決の施策検討・実証実験に取り組む。
- 2 場 所 上記コーイキングスペース内
- 3 テ ー マ 「食品ロス削減に向けての新事業の検討及び試行」
- 4 参 加 者 研究塾3班(しごと分野)班員6名及び民間企業3社(者)程度
- 5 開催予定 第1回打合せ: 令和2年12月18日(金) 午後1時30分~午後3時
※今後、週1回程度討議を実施予定

「新しい生活様式」対応型チャレンジ「新発想」研究塾 2020 の事業概要等は、別紙をご参照ください。

こおりやま広域圏 チャレンジ「新発想」研究塾 2020
3班・しごと分野 班員及び提案概要について

【班員】

No	市町村名	所属	職名	氏名
1	郡山市	総務部 職員厚生課	主事	高岡 景
2	田村市	市民部 生活環境課	主事	大川原 一博
3	本宮市	放射能除染・モニタリングセンター	主事	高橋 亮
4	鏡石町	産業課	副主査	仲沼 諒
5	石川町	農政課	主事	小豆畑 裕
6	小野町	町民生活課	主事	大和田 和

【提案概要】

3班	【しごと分野】 体験型官民連携の場づくりによる自助・共助・公助の地域課題解決について
概要	地域の抱える課題は、多様化・複雑化しており、自治体単独での解決には限界がある。また、新しい生活様式に対応した働き方改革も迫られているが、対応が追いついていない現状にある。そこで、自治体と民間企業等が共通課題への挑戦を通じて相互に理解・協力し、課題解決に取り組む「自治体クエスト」及び官民が集いクエストを誘発する場所「コーイキングスペース」の設置を提案する。本提案により、広域圏職員と民間企業の交流・連携を促進し、公助かつ共助、自助へと地域課題解決の主体をシフトするとともに、新たな働き方の推進を図る。

【コーイキングスペース】



1 チャレンジ「新発想」研究塾の趣旨等

住民ニーズを的確に捉え地域の魅力を高めた住民満足度の高いまちづくりを実現するため、住民生活を直視し、新しい発想のもと知恵と工夫を活かした実効性のある施策の調査研究を行うとともに、こおりやま広域圏の若手職員の政策形成能力の向上を目的とした研究塾です。

2 研究塾2020のポイント

- (1) 「こおりやま広域圏連携中枢都市圏」の関係市町村の若手職員 24 名で圏域全体の課題解決に挑戦。
(郡山市 6 名、須賀川市 1 名、二本松市 1 名、田村市 5 名、本宮市 2 名、大玉村 1 名、鏡石町 2 名、石川町 3 名、三春町 1 名、小野町 2 名)
- (2) 「新しい生活様式」に対応するため、オンラインを中心とした手法で調査研究を実施。
- (3) 提言内容の具現化に向けた試行の実施。
- (4) 研究分野【広域圏連携で解決すべき課題への取組み】
 - ① まち分野 (一度都会に出て戻って暮らしたくなる魅力的な地域づくり)
 - ② ひと分野 (ひとの縁を結び、まちを元気にする交流の活性化)
 - ③ しごと分野 (多様な人材の活用を支援し、地域の活力維持に繋がるしごとの創生)
 - ④ DX分野 (Society5.0、5G 時代に対応したデジタルトランスフォーメーション(DX)の推進)

3 メンバーの構成

- (1) 年齢 概ね 35 歳以下の職員 (令和 2 年 4 月 1 日現在) ※公募により研究生を募集
- (2) 構成
 - ・ 班構成：1 班 6 名 (班長 1 名、副班長 1 名、班員 4 名)
 - ・ 班数：4 班
 - ・ 研究塾の代表・副代表各 1 名を選任 (班長・副班長以外から選出)

4 進め方・スケジュール

- (1) 研究テーマの設定
- (2) 討議 (調査研究)：週 1 回程度、
 - ・ ウェブ会議を中心に実施 (2 時間程度、原則水曜日)
- (3) 報告会の実施
 - ・ リサーチ編：10 月、トライアル編：2 月

	7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月
	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬
開講式・テーマ決定															
			全体会		中間報告会		報告会開催		全体会				中間報告会		報告会開催
	<リサーチ編> 調査・研究						<トライアル編> 具現化に向けた試行								

5 研究成果

- (1) 調査研究のまとめ及び報告書の提出
- (2) 報告会の実施 (YouTube での配信)
- (3) 事業化に向けた関係部局との調整

【参考：これまでの成果】

- ・ イクメンハンドブックの発行
- ・ 育パパサポート奨励事業
- ・ 移住・定住ポータルサイトの開設
- ・ 官民連携ポータルサイトの開設
- ・ 広域圏での業務連携 (「令和元年東日本台風」での相互応援)